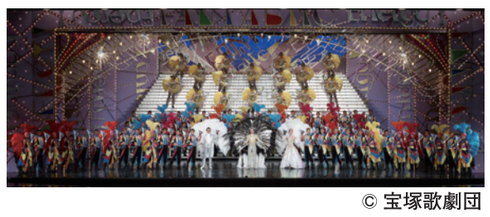
今年注目の宝塚エリアに行こう

宝塚歌劇100周年・宝塚市制60周年・手塚治虫記念館20周年

宝塚市・宝塚市国際観光協会では、宝塚歌劇100周年と宝塚市制60周年、手塚治虫記念館開館20周年を記念し、トリプルイヤーとして様々な取り組みを行っている。例えば、阪急宝塚駅からソリオ宝塚、宝塚大劇場へと続く「花のみち」などに、赤と白のバナーが続き、それぞれの周年を華やかに祝っている。

宝塚歌劇


© 宝塚歌劇団

歌舞伎が男性だけの舞台に対して、宝塚歌劇の出演者は女性だけ。その独自のスタイルから創りだされる華麗な夢の世界が、大きな魅力。

公演ジャンルもミュージカル、レビュー、ショーと多岐にわたり、和洋どちらもこなす幅広いレパートリーも人気の秘密。なかでも、大規模なレビューやショーを定期的に上演する劇団は世界でも類を見ない。大正3（1914）年4月の初公演以来、現在では約450人の生徒たちが、「花」「月」「雪」「星」「宙（そら）」の5組に分かれ、交代で公演を行っている。また、どの組にも属さないスペシャリスト集団「専科」が特別出演などで公演をキリッと引き締める。

宝塚歌劇の専用劇場である宝塚大劇場の最大の特徴は、夢のフィナーレを豪華に演出する電飾輝く大階段。そして、もうひとつの売り物が専属のオーケストラによる生演奏。さらに、回り舞台、せり、銀橋（エプロンステージ）などを駆使した大がかりな舞台装置や、変幻自在の照明が、きらびやかな衣装に身を包んだスターたちによる華麗なステージを盛り上げる。宝塚大劇場（宝塚市栄町1-1・57）TEL0570・00・5100。

宝塚歌劇の殿堂

宝塚歌劇100周年を記念して、宝塚歌劇の発展に大きな貢献をした人々の功績を称えるため宝塚大劇場内に宝塚歌劇の殿堂が開館。宝塚歌劇団の卒業生およびスタッフを写真などで紹介。縁の品も数多く展示されている。

また、舞台体験コーナーでは、来館者がタカラジェンヌ気分を味わえる。輝かしい100年の歴史を経て、未来へとますます大きく羽ばたいていく宝塚歌劇。その軌跡が楽しめる施設だ。

「宝塚歌劇の殿堂」（宝塚大劇場内）
第一会場（2階）：殿堂ゾーン…殿堂入りした宝塚歌劇団の卒業生およびスタッフの紹介
第二会場（3階）：現在の宝塚歌劇ゾーン…現役トップスターの紹介や、最近の公演で使用した舞台衣装や小道具の展示
：企画展ゾーン…2014年8月18日まで「春日野八千代展」開催中、8月22日より「大浦みずき展」開催予定
営業時間 1回公演時10：00～17：00 2回公演時9：30～17：00　入館料500円（税込、小学生から有料）※入館チケットの販売は閉館の15分前まで
休館日：宝塚大劇場休演日（毎週水曜日、公演入替期間）問い合わせ：宝塚歌劇インフォメーションセンター　TEL：0570-00-5100（10：00～17：00／水曜定休）

宝塚温泉

宝塚温泉イメージ

清流の武庫川河畔に面し、緑の六甲山などの山並みを背景にした温泉。宝塚大劇場へは歩いて行ける。阪急電車やJR、車でのアクセスも便利。温泉の歴史は古く、700年以上前の鎌倉時代から親しまれている。泉質はナトリウムや炭酸ガスを含んだ塩類泉。

ナチュールスパ宝塚（宝塚市湯本町9-33）
「女性に嬉しい」をキーワードにした新タイプのスパリゾート。金宝泉・銀宝泉の2種類の天然温泉、体にやさしくシェイプアップできるジェット水流温水プール（女性専用）、家族やカップルでも楽しめる屋外ジャグジー、天然素材をふんだんに取り入れた多彩なメニューが自慢のエステ、こだわりの素材でお腹も気分もさらに充実するB1Fレストラン（エステ・レストランは予約可）。美と健康を満喫できる。（TEL0797・84・7997）。

宝塚市内 おすすめ旅館・ホテル

宝塚ホテル
京阪神の名門ホテルとして1926年に創業。緑に溢れる、ゆったりとした空間とくつろぎの時間を楽しめる。
宝塚市梅野町1-46
TEL：0797-87-1151
http://www.hankyu-hotel.com/hotel/takarazukah

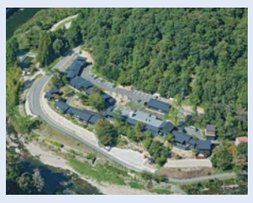
ホテル若水
ホテル若水は、700年の歴史を持つ宝塚温泉にふさわしい料理旅館としての暖簾を大切にしながらも、新しい時代の和のくつろぎを追求するハイグレードなリゾート旅館。
宝塚市湯本町9-25
TEL：0797-86-0151
http://www.h-wakamizu.com

宝塚ワシントンホテル
阪急宝塚駅前、武庫川べりの静かで落着いた環境にあり、宝塚大劇場に最も近く、料理が人気。
宝塚市栄町 2-2-2
TEL：0797-87-1771
http://www.takarazuka-wh.com

武田尾温泉（宝塚市玉瀬・西宮市塩瀬町周辺）

宝塚からJRでわずか10分。渓谷や秘湯の雰囲気がただよう温泉地。四季折々の景色のほか、春から夏にかけての山菜料理や冬のぼたん鍋などが味わえる。

紅葉舘 別庭 あざれ
武庫川の山と渓谷美の中の武田尾温泉に、源泉掛け流し半露天風呂付全室洋室一戸建ての舘。
宝塚市玉瀬字イヅリハ1-47
TEL：0797-91-0131
http://www.takedao-onsen.jp/



マルキ旅館
武庫川渓谷の大自然の中、レトロ調の岩窟風呂・展望露天風呂・露天風呂付客室等の温泉と、名物ボタン鍋や季節の会席料理でゆったり時を楽しめる。
西宮市塩瀬町名塩5313-35
TEL：0797-61-0221
http://www.marukiryokan.jp

手塚治虫記念館
（宝塚市武庫川町7-65）

今年開館20周年を迎えた。手塚マンガのほとんどの作品がそろった「ライブラリー」や、オリジナル映像作品を上映する「アトムビジョン」、手塚治虫の仕事机を眺めながらアニメーションの制作体験ができる「アニメ工房」など、手塚治虫の世界を見て、触れて、感じて、楽しめる。6月30日まで開館20周年記念企画展「地上最大の手塚治虫展」を開催。7月4日～10月27日はオトメイト×テヅカオサム「テヅカオトメ展」を、10月31日～2015年2月20日は（仮称）忌野清志郎展を開催する。2015年3月24日までは、ホテル若水と連携企画を実施。手塚治虫記念館半券提示で、ホテル若水の大浴場を1000円（タオル付）で入浴できる。また、レストラン「山茶花」での食事では1ドリンクサービスとなる。休館は水曜日。TEL：0797-81-2970

宝塚文化創造館
（宝塚市武庫川町6-12）

宝塚音楽学校旧校舎が、新たな文化創造の拠点として「宝塚文化創造館」としてリニューアルオープン。昭和10年に建設されたモダニズム様式の建物で、約45年間にわたって、多くの卒業生を送り出した。その面影が残る同館は、建築史や文化財の見地からも評価されている。2階には、宝塚音楽学校と宝塚歌劇を紹介する「すみれミュージアム」を常設。卒業写真や授業風景の映像のほか、約800点のポスター、ミニシアターではここでしか見ることのできない映像を上映。様々な角度から宝塚音楽学校と宝塚歌劇を堪能することができる。休館は水曜・年末年始。TEL：0797-87-1136

元タカラジェンヌと歩く宝塚ガイドツアー

1914年に初公演を行った宝塚歌劇は、2014年、100周年を迎えた。この伝統と浪漫あふれる宝塚の街を元タカラジェンヌと巡る。同ツアーは、2015年3月末までの第2・4土曜日に開催。集合（二ヵ所）・出発時間：宝塚ホテルロビー9時・ホテル若水9時10分出発、約90分、約2㎞。参加方法：エースJTB宿泊プラン申し込み者対象。事前申し込み不要（直接各ホテルのロビーで受付）。定員：20人程度。コース：宝塚ホテル（ホテル内には歌劇の写真や大劇場の緞帳などが展示）→ホテル若水→花のみち→宝塚文化創造館（旧宝塚音楽学校）→いづみや本舗→宝塚大劇場。詳細については、宝塚エリアのエースJTB宿泊プランが掲載されているパンフレットを参照。

宝塚の観光情報は…宝塚市国際観光協会　TEL:0797-77-2012　FAX：0797-74-9002　http://www.kanko-takarazuka.jp/

今年誕生90周年

これまでの軌跡を甲子園歴史館で体感

阪神甲子園球場は1924年8月1日に甲子園大運動場として誕生した同球場には、これまでの軌跡を紹介する博物館「甲子園歴史館」がある。2月には台湾映画「KANO」の舞台となったことをきっかけに、台湾からの外国人観光客も急増している。

甲子園歴史館は、一般個人向けの見学だけではなく、団体向けプランやスタジアムツアーなど魅力的な着地観光商品も設定している。今回は、甲子園歴史館の魅力について紹介する。

バックスクリーンビュー（甲子園歴史館）からの甲子園球場

甲子園歴史館概要

甲子園歴史館は、2010年3月14日に阪神甲子園球場の外野スタンド内にオープンした阪神電気鉄道が運営する野球を中心とした博物館。前身は、阪神タイガース史料館。延床面積は約1900平方メールを誇る甲子園歴史館は、高校野球、阪神タイガース、甲子園球場の歴史を一堂に集め、甲子園球場を舞台に繰り広げられた数々のドラマを後世に伝え、日本の野球文化振興と野球ファンの裾野拡大に貢献する目的で開館された。

おもに甲子園球場を本拠地とするプロ野球チーム「阪神タイガース」、高校野球（全国高等学校野球選手権大会、選抜高等学校野球大会）、大学アメリカンフットボール大会「毎日甲子園ボウル」の歴史や関連物品などが展示されている。

高校野球ゾーン

歴史館は建物2階へ進むと展示が始まる。最初の展示ゾーンは「聖地への誘い」。日本高等学校野球連盟最大加盟校数と同じ4523の硬式球で構成された「ボールウォール」があり、その硬式球には、甲子園出場経験のある学校の校名が記される。

「名勝負ギャラリー」は高校野球の甲子園夏の大会や春の選抜の大会の名勝負や名シーンを展示物などで紹介。近年のものでは、ダルビッシュ有投手の高校時代のグラブも展示されている。

「コレクションギャラリー」では、甲子園に旋風を巻き起こした高校のユニフォーム（レプリカ含む）やグラブなどを展示。

甲子園歴史館

阪神タイガースゾーン

阪神タイガースゾーン

「ヒーロー列伝」では、タイガースの往年の名選手である藤村富美男、村山実、吉田義男ら永久欠番選手を中心に、球団の歴史を紹介。「歓喜の瞬間」は、ユニフォームや貴重な1985年日本一優勝ペナントなど、タイガース優勝にまつわるものを展示している。また3人の優勝監督である吉田義男、星野仙一、岡田彰布の各氏のユニフォームを展示。

高校野球ゾーン

バックスクリーンビュー

歴史館から屋外階段を使って、スコアボードの真下の展望スペースに出られる。バックスクリーンの前から球場全体を眺められることもあり、記念撮影スポットにもなっている。

プロ野球の試合前の練習時間と重なった場合は、目隠しとして、可動式スクリーンが並べられ、スクリーンにある、のぞき穴から球場を観賞する（試合中は閉鎖）。

バックスクリーンウォーク

「なつかしの選手名板」は、1983年まで使用されたスコアボードの手書きの選手名板を展示。タイガース以外にも、他のセ・リーグ球団所属選手の選手名板も展示。記念撮影スポットにもなっており、バース、掛布、岡田の3選手が並ぶ位置と、他球団では王、長嶋両氏の並ぶ位置が人気となっている。

その後は、高校野球春、夏の大会の全トーナメント表などの展示が続き、「まんがと甲子園」コーナーへと続く。水島真司氏の「ドカベン」や、あだち充氏の「タッチ」などについて、直筆サインや名場面を大型パネルで紹介している。

まんがと甲子園

スタジアムツアー

スタジアムツアーは、11コースを設定。催事によりコースが決められている。タイガースOB参加スタジアムツアーでは、スタジアムツアー14：00発のR1コースの途中で、タイガースOBが登場し、球場や練習に対しての解説をして貰える特別なもの。登場するOBは、日替わり。

ツアーコースは、R1コース（阪神タイガース練習見学付きスタジアム見学コース）と同コース。雨天時でもツアーは行われ、練習見学の替わりにスタンドでOBによるミニトークショーが行われる（行われない場合もある）。定員は1便50人まで（先着順）。料金は通常のスタジアムツアー料金と同じ。

団体向けスタジアムツアー

通常のスタジアムツアーのコースに加え、団体予約ならではのオプションが組み込み可能。

オプションは、「講演会・トークショー」「弁当プラン」「カレープラン」「ウェルカムビジョン」。

「講演会・トークショー」は、歴史館併設の多目的ホール（定員70人）で歴史館スタッフやボランティアガイド、スケジュールが合えばタイガースOBが講師を務める。講師によって、料金が異なるため、要問い合わせ。

「弁当プラン」は、グランドを眺めながら、スタンドで弁当を食べることができるプラン。料金は、選んだ弁当の内容による。また弁当の種類も豊富。スタンドは、ネット裏のグリーンシートで、所要時間は約50分で入退場時間も含む。

「カレープラン」は、甲子園球場名物の「甲子園カレー」を、球場内にある「関係者食堂」で食べられるプラン。料金は、ワンドリンク付きで1人700円。「ウェルカムビジョン」はスタジアムツアー中に、甲子園球場のスコアボードに団体名を明記した映像を映し出すサービス。フレームデザインは、12種類ある。料金は、1万2千円（税込）。

日程によって見学できない場所や、組み込み可能なオプションもあるため、条件などは甲子園歴史館と打ち合わせが必要。

カレープラン

KANOゆかりの展示

嘉義農林学校の資料

呉昌征選手のレリーフ

嘉義農林学校の出場が分かる

「KANO」とは
日本統治時代の台湾の高校球児の活躍を描いた台湾映画。物語は、嘉義農林学校野球部（現・国立嘉義大学）の台湾人と台湾先住民、日本人の混成チームが台湾代表として、1931年の夏の甲子園大会に出場、決勝戦まで勝ち進み準優勝した実話をモデルとし、台湾出身の日本プロ野球第一号選手であり戦前、戦後の日本プロ野球界で活躍した呉昌征選手についても描かれている。日本人俳優も、チームを育てた監督の近藤兵太郎役を永瀬正敏さんが演じたほか、近藤監督の妻役には、坂井真紀さん、台湾で治水工事を行った八田興一役に大沢たかおさんらも出演しており、呉昌征選手は、魏祈安さんが呉波（呉昌征）役を演じている。　甲子園歴史館には、ゆかりの品も展示されている。同映画にも登場し、阪神タイガースに在籍した呉昌征選手の資料も残っている。

問い合わせ先
甲子園歴史館
〒663-8152
兵庫県西宮市甲子園町1-82
外周16号門横
TEL 0798-49-4509
http://www.koshien-rekishikan.com/

開館時間
[3月1日～10月31日]
10時～18時（入館は17時30分まで）
[11月1日～2月末日]
10時～17時（入館は16時30分まで）
休館日は、年末年始、毎週月曜日。
月曜日に限り、プロ野球や高校野球の試合開催日と祝日が月曜の場合は開館

入館料
おとな（高校生以上）一般600円　団体500円
こども（4歳以上中学生まで）
一般300円　団体200円
団体料金は、20人以上で事前に予約を済ませる必要がある。

ドラフト指名体験コーナー

プロ野球ドラフト体感コーナー

プロ野球のドラフト指名を体感できるコーナーで、プロ野球12球団の中から好きな球団とポジションを選び、自分の氏名と出身校などを入力すると、本物のドラフト会議と同じ画面が表示され、記念撮影が可能となっている。